

ほのぼのの広場

『ほのぼのの広場』に、あなたの身の周りのほのぼのとした話題や我が家の自慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼投稿先・〒783 南国市大浦 甲一三〇一 南国市役所内広報委員会まで。

趣味

釣りの秘訣

趣味の釣りは、まず自ら舟を漕ぎ魚のいる瀬代を捜し当て、比較的危険の少ない湾内で釣ることだ。舟を漕ぐは一時、竿は三年といわれ、だれでも一目乗れば漕げる。しかし、魚を釣るように漕ぐにはかなりの経験がいる。浦戸湾、宇佐の横浪、須崎湾などがよいと思う。

特に浦戸湾は魚種が最も多い。それに、国分川等の川尻にあり年中、水が少し濁っているので釣りに適しており、特にチヌが年中釣れる。

チヌを釣るのに秘訣がある。チヌの選掛けといって、ツンときても掛けられん。大抵の人は、待ちかねているところへツンとくれば掛けるが、それでは掛からん。チヌ釣りはまず、糸を斜めに投げて

ン掛けという。糸は五号くらいでだいたいぶぶだ。

第三番目はエバ。五、六寸くらいのもが浦戸湾でよく釣れる。エバは必ず二度ツンツンとあたる。初心者は、このツンツンで掛けるがそれでは取れん。エビの尾をくわえて引いているので、ツンツンときたときに竿の先を一尺くらい上げてやると、エビが逃れる思っ

てグイと食い込む。そのときに引き上げれば難なく取れる。これも垂直釣り。群れをなしており、潮の具合で一時間か二時間が勝負と

ころである。秋になると太り、八寸くらいのもが湾口でよく釣れる。そのころは一度でグイと食い込む。

この三つを頭に入れておけば、大体ほかの魚は先方から食い込む。魚の食う時季はそれぞれ異なる。

浜田広信(植田)



私は、作家の故武田泰淳氏夫人百谷益子さんの本が大好きです。まず第一にロシア旅行記「大が星見た」(読売文学賞受賞。次に富士山荘での日々をつづった「富士日記」(上)(中)巻(田村俊子賞受賞)です。

もあり、知らず知らず人生を語っているようで、噴き出すところあり、涙が止まらないほど泣けるところもあります。昭和五十一年に夫君泰淳氏が亡くなり、どんなに寂しかったでしょう。でも、この日

武田百谷さんの本

刈谷益子(後免町)



ソ連へいっしょに旅行しているようで、おもしろくて何度も読み返したい。全く私にとって「東海道五十三次」以来です。また富士日記は、これが日記なのかと思うほど小説のよう

記が読み継がれる限り、読者の心にもいつまでも、あの染しかった日々がよみがえってきます。



ご家庭で話し合っただけで答えてください。答えは、この広報に出ています。

●もんだい・科学技術週間の四月二十日、〇〇発明工作教室が大蔵小工作室で開かれました。

●しめきり・5月15日

●あて先・〒783 南国市大浦甲一三〇一 南国市役所内広報委員会親子クイズ係

●答えのハガキには必ず、住所氏名、年齢、職業を書いてください。

●賞品・正解者の中から、抽選で五人に図書券を進呈。

第159回当選者発表(敬称略)

●答え・①②

●当選者五人

井上能子(大浦)

藤沢芳子(立田)

徳橋寛好(久礼田)

弘瀬功征(大浦)

土居望(十市)